

印象体などの除菌・消臭に 画期的な安定化二酸化塩素除菌・消臭剤



印象体は米国疾病管理・予防センター(CDC)のガイドラインではセミクリティカル器具として高水準の消毒が求められています。しかし、除菌効果を求めれば求める程、人体等への危険性が高いのが一般的です。この状況の中で、印象体の寸法変化等の影響がなく、菌に対して瞬時に効果を発揮し、尚且つ、人体に極めて安全な「除菌・消臭剤」が誕生しました。

強力除菌

極めて高い安全性

寸法変化なし

無色無臭

即効性



MATATACORO®

マタタコロ

全く臭いがない二酸化塩素

ウイルス感染分野の視点から生まれた除菌剤!

MRSA、耐性菌などの院内感染の可能性の低減に、最高レベルの除菌力と安全性を備えたスプレー噴霧型で使い勝手のよい除菌・消臭剤です。

消毒剤名		一般細菌	耐性菌	結核菌	芽胞菌	エイズウイルス	SARSウイルス	B型肝炎ウイルス
マタタコロ	安全性	○						
	スペクトル	○	○	○	○	○	○	○
次亜塩素酸ナトリウム	安全性	△						
	スペクトル	○	○	△	△	○	△	×
塩化ベンザルコニウム	安全性	○						
	スペクトル	○	×	×	×	×	×	×
クレゾール	安全性	△						
	スペクトル	○	○	○	×	×	×	×
消毒用エタノール	安全性	△						
	スペクトル	○	○	○	×	○	×	×

世界最先端の安定化二酸化塩素除菌・消臭剤

安定化二酸化塩素の特性

- ①塩素の2.6倍の酸化力をもつ物質です。
- ②次亜塩素酸などを使用した塩素消毒において発生する発癌性物質トリハロメタンを生成しません。
- ③WHO(世界保健機構)、FDA(米国食品薬局)、EPA(米国環境保護庁)、で安全性と有効性が認証されています。

1つの特性で4つの作用
抗菌・除菌・防カビ・消臭

マタタコロはウイルスや菌のたんぱく質を破壊するという特性をもって、**抗菌・除菌・防カビ・消臭**と様々な威力を発揮します。

公正な専門機関の(社)京都微生物研究所において殺菌・抗菌試験を実施し、極めて高い除菌・抗菌効果を確認しています。

肌に優しい弱アルカリ性
肌荒れの心配なし!

マタタコロは中性のため、アルコール系溶液、次亜塩素酸溶液、二酸化塩素溶液のように肌荒れを引き起こすことはありません。(※個人差はあります)

極めて高い安全性
安全性試験で認証

除菌力の高い薬剤は危険性も高いのが一般的ですが、マタタコロは安全性の面でも様々な検証をしており、安心してご利用頂けます。

(財)日本食品分析センターでの3種類の安全性試験の結果、極めて高い安全性が確認されています。

- ①皮膚一次刺激性試験OECD法(ラット)⇒**刺激性は認めない。**
- ②眼刺激性試験OECD法(ラット)⇒**無刺激物。**
- ③急性経口毒試験LD50値(マウス)⇒**2,000mg/kg以上。**

大阪府立産業技術総合研究所にて**金属腐食試験実施。**⇒**腐食性なし。**

No.02-00364 腐食速度 (mm/年) ①ステンレス304 0.0mm ②ステンレス316 0.0mm ③アルミニウム 0.0mm

マタタコロは公的な試験機関で試験を実施し、数多くのエビデンスを保有している製品です。

公的な試験機関において除菌力評価:安全性評価試験も実証され、さらに東京医科歯科大学でのバイオハザードP3においての特殊試験も実証。多くの医療機関、施設などで導入され始めています。

※特殊試験 SARS-Cov、FFM-1株、東京医科歯科大学、ウイルス抑制/P3
インフルエンザウイルスFluA、PR8株(H1N1含)、東京医科歯科大学、ウイルス抑制/P3

■公的試験機関 試験完了項目

●安全性試験及び殺菌力評価試験

1	ウサギを用いた眼刺激性試験	財団法人日本食品分析センター
2	マウスを用いた急性経口毒性試験	財団法人日本食品分析センター
3	ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験	財団法人日本食品分析センター
4	殺菌力評価試験(石炭酸係数法)	社団法人京都微生物研究所
(使用細菌株)		
大腸菌、MRSA、白癬菌、グラム陰性桿菌(肺炎桿菌)、黄色ブドウ球菌、緑膿菌、サルモネラ菌、毛玉カビ、黒毛カビ、黒色酵母、6ヶ月後経過試験データ		

■臨床試験結果について

●特殊試験

1	SARS-Cov、FFM-1株	東京医科歯科大学 ウィルス制御/P3
2	インフルエンザウイルスFluA、PR8株(H1N1含)	東京医科歯科大学 ウィルス制御/P3
3	MTT assay 細胞毒性評価試験	東京医科歯科大学

●試験項目

1	連続皮膚刺激性試験	株式会社 生活科学研究所 GLP/GCP基準
2	皮膚感作性試験	
3	細菌を用いる復帰突然変異試験	
4	染色体異常試験	
5	ヒトパッチ試験	



●抗菌試験結果【社団法人 京都微生物研究所】

抗菌試験結果【大腸菌・黄色ブドウ球菌・緑膿菌・サルモレラ菌・肺炎桿菌】

菌名	菌数の経時変化				
	初期	10min-1	10min-2	10min-3	平均
<i>E. coli</i>	1.7×10^6	<10	<10	<10	<10
<i>St. aureus</i>	1.8×10^6	<10	<10	<10	<10
<i>Ps. aeruginosa</i>	1.0×10^6	<10	<10	<10	<10
<i>Sal. enteritidis</i>	1.5×10^6	<10	<10	<10	<10
<i>Kl. pneumoniae</i>	2.2×10^6	<10	<10	<10	<10

Control 試験結果

菌名	菌数の経時変化				
	初期	10min-1	10min-2	10min-3	平均
<i>E. coli</i>	1.7×10^6	1.5×10^6	2.4×10^5	1.9×10^5	1.8×10^6
<i>St. aureus</i>	1.8×10^6	1.2×10^6	1.0×10^5	1.3×10^6	1.2×10^6
<i>Ps. aeruginosa</i>	1.0×10^6	8.2×10^4	9.9×10^4	1.1×10^5	9.7×10^4
<i>Sal. enteritidis</i>	1.5×10^6	1.3×10^5	1.1×10^5	1.0×10^5	1.1×10^5
<i>Kl. pneumoniae</i>	2.2×10^6	2.5×10^5	2.4×10^5	2.8×10^5	2.6×10^5

* <10 : 検出せず

単位 : CFU/mL

抗菌試験結果【MRSA】

菌名	菌数の経時変化				
	初期	10min-1	10min-2	10min-3	平均
<i>E. coli</i>	2.4×10^6	<10	<10	<10	<10
MRSA	1.2×10^6	<10	<10	<10	<10

Control 試験結果

菌名	菌数の経時変化				
	初期	10min-1	10min-2	10min-3	平均
<i>E. coli</i>	2.4×10^6	2.2×10^6	2.0×10^6	2.4×10^6	2.3×10^6
MRSA	1.2×10^6	1.5×10^6	1.3×10^6	1.2×10^6	1.3×10^6

* <10 : 検出せず

単位 : CFU/mL

インフルエンザウイルス(非複製型を含む8株)の不活化試験

70%エタノール

マタタコロ



70%エタノールは即効性であるが、5分後にウイルスが再活性化される。
マタタコロは即効性であり、核酸まで破壊していると予測される。よって5分・10分後においてもウイルスは再活性化されていない。

細菌 MR(薬剤耐性菌)

サンプル	菌数の経時変化				
	初期	5min-1	5min-2	5min-3	平均
マタタコロ	1.2×10^4	<10	<10	<10	<10
Control	1.2×10^4	1.3×10^4	1.0×10^4	1.0×10^4	1.1×10^4

試験方法：殺菌力評価
マタタコロ(100ppm)10mlに10⁷の菌数に0.1mlを接種し、25℃で作用させ殺菌時に生菌数を測定した。初期菌数はリン酸緩衝液(1/15M pH7.2)10mlに菌液1ml接種しこれより菌数を測定した。
使用培地：標準寒天培地(栄研)
結果：マタタコロ(100ppm)を処理することにより、5分で細菌数が除去されているのが確認できる。

感染予防対策は患者様が、歯科医療施設を決める際に基準とする重要なファクターです。

【出所】平成21年1月 医学と生物学 第153巻 第1号
感染防止と歯科医療受診行動 IV
～「感染予防対策」は患者が歯科医療施設を選択する際に重要なか～
【より引用】

○ご使用例



印象体の硬化後、水で洗い流し、表面が十分濡れる程度にスプレーするか、容器に浸漬させしばらくおいてから水で洗い流してください。(1分～10分程度)



清掃・除菌・消臭剤として
※使用後に吹きかけるだけでもOK



空間除菌に
※アロマオイルと混合しても効果に影響はありません。
※超音波式の加湿器がお勧めです
(温度が上がらない対タイプの加湿器)



スリッパ・白衣などの除菌消臭として



マタタコロ 4L (医院専用) **希釈の必要はありません。**

標準価格 15,000円(税別)

ご購入の方 **空スプレー容器1本付!**
※専用空スプレーは別売り300円です。

シュッとひと吹きウイルス・菌・ニオイを瞬間除去!



■使用方法
【噴霧】カーテンやシーツなどの布製品・生ゴミなどのニオイの元には20cm程度離して直接噴霧してください。
【拭き取り】汚染物を除去した後、表面が十分濡れる程度にスプレーして、しばらくおいてから布などで拭き取るか水で洗い流してください。

【製造元】 株式会社エースネット
〒113-0033 東京都文京区本郷1-33-3後楽園キャステール6F
【販売元】 東京歯科産業株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-10-5
Tel.(03)3831-0176 Fax.(03)3835-8254
HP: <http://www.tokyodental.co.jp>
E-MAIL: main@tokyodental.co.jp